

第63回（平成14年度第2回）理事会議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日時： 平成14年7月27日（土）午後4時～5時
2. 場所： 神奈川県社会福祉会館 2階第1研修室 （横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事： （副会長）古郡 敬一、野地 澄雄
（専務理事） 山田 隆、（常務理事）片 忠夫、渡辺 三郎、菊地富士夫
越前谷 芳隆
（理 事） 百海 延、早川 博基、 上田 英之、本田 衛義、柴田 秀一、
徳本 進、斉藤 幸雄、木村 徳善、菊地 勇二、
清水 忠、平沢 幸一、栗田 謙悟、本宮 敏宏
欠席理事： （会長）河野洋平、（副会長）広瀬 稔、（理事）堀 祐樹、岡本 洋一、長久保 巖
4. 出席監事： 井駒 利一、徳田 盾夫
5. 議 長： 山田 隆専務理事を選出。
6. 議事録署名人： 斉藤 幸雄理事、木村 徳善理事を指名。
7. 書 記： 池田 一紀広報委員を指名。
8. 議 事
 - 1) 報告事項
 - （1）慶弔について 該当事項がない旨報告された。
 - （2）財政状況について
 - ①次回理事会に詳細な報告を行う旨、上田理事より報告があった。
 - ②会員登録について、山田専務理事より質問があり、柴田理事より次のとおり報告され、了承された。
 - ・ S A Jの事務担当者会議では、9月までに継続会員登録をするよう話があった。
 - ・ しかし、7千名を超える神奈川県では、事務上無理があるので、遅れる旨 S A Jに申し入れている。
 - ・ S A Jとしては、昨年よりカード会社など体制を強化し、申請後1ヶ月で処理するとの話である。
 - ・ 神奈川県連としては、従来より早く9月14日に手続き要領説明会を行い、10月いっぱい県内の事務を終え、S A Jへ提出する予定である。
 - （3）各委員会の報告について
 - ① H C（ハンデキャップ）委員会について
 - ・ 越前谷理事より活動予定等について報告があり、了承された。
 - ア 活動予定について
 - イ H C委員の選出について
各協会から推薦された方の中には、周囲から批判の声もある方もいるとのことだが、理事会としては問題があることを認識し注意深く見ていくことで、各協会から推薦されたとおり、任命していくことで了承された。
 - ② 広報委員会について
 - ・ 越前谷理事より委員選出について報告があり、了承された。

- ・ 徳本理事より、広報委員会の活動状況について報告があり、了承された。

③総務委員会について

- ・ 越前谷理事より委員選出について報告があり、了承された。

2) 審議事項

(1) 各本部専門委員について

①競技本部専門委員について

- ・ 菊地競技本部長より、各部専門委員の候補について提案があった。
- ・ 以前諸々の理由から一旦専門委員退いたことのある方も協会から推薦されていたが、以前の経緯等の理由から選出については再考すべきとされた。
- ・ その他の候補については、菊地競技本部長の提案どおり承認された。
- ・ また、SAJ協議本部の専門委員の推薦について、菊池競技本部長より、アルペン部で菊地富士夫氏、スノーボード部で佐々木耕司氏および和田幸一氏を推薦する提案があり、提案どおり了承された。
- ・ しかし、今回選出されたSAKの専門委員を見てみると、年齢的にも高齢となっており、アルペン部など人手が足りない感じである旨の意見があった。
- ・ 競技本部としても、普及啓発の活動も重要となってきたことから、専門委員として意欲をもって取り組もうとしている人材を有効に活用することを考えながら、次の世代のことも考慮し、今後若い専門委員を探し出すことを心がけるよう山田専務理事より話があった。
- ・ 競技本部の担当理事の分担について、総務担当理事からの応援である斎藤理事の分担について、今年度初めて担当するには担当が多く厳しいため、総務担当理事より、もう一名応援を受け運営することを考えなど再考し、後日、諮ることとなった。

② 教育本部専門委員について

- ・ 渡辺教育本部長より、専門委員の候補について提案があった。
- ・ 各協会から11名の新人を含め72名の推薦があったが、7月17日に部会を開催し検討したところ、各協会からのバランスや今までの参加状況など加味し、5名選考せず、67名を候補とした。
- ・ 選出されなかった5名の方については、理由を付して、協会へ文書で回答することとし、承認された。
- ・ 教育本部の担当理事の分担について、渡辺教育本部長より提案があり、承認された。
- ・ また、安全対策委員会の担当理事として、渡辺教育本部長より上田理事の推薦があり、承認された。
- ・ なお、安全対策委員について、資格取得に関して権限があるかのような言動で受検を断念させるなど安全対策委員の態度に批判がでているという報告が県連に届いており、担当する理事は、委員に自覚を促すなど注意して運営するよう山田専務理事より話があった。
- ・ SAJ専門委員について、渡辺教育本部長より相談があったが、諸々の理由から、推薦の承認はされなかった。なお、神奈川県連として承認されなかった旨のことについて、SAJには山田専務理事より話をする事とした。

(2) 手続要項資料作成日程について

- ・ 本田理事より日程について説明があり、教育本部と競技本部については、8月18日までに総務本部へ原稿の提出を行うことと確認した。

3) その他

①競技関係の有資格者名簿について

- ・ 監事より、競技本部の専門委員について、有資格者などの名簿を作成しておき、専門委員の人材確保に役立たせるべきである旨の意見があった。
- ・ 菊地競技本部長より、有資格者の洗い出しを行っており、名簿の作成を行うとの回答があった。

②決算における繰越し金の計上方法について

- ・ 監事より、決算における繰越し金の計上方法について、意見のある方もいる旨話があった。
- ・ 山田専務理事より、会計については、教育庁の了解を得ていることで、適正であると判断している旨の回答があった。

③競技本部の専門委員の雰囲気について

- ・ 監事より、競技本部の専門委員について、団結力が強いのは良いが、新しい人が入りにくい雰囲気があるように感じられるので、若い新しい人が活動しやすい雰囲気づくりをするよう要望があった。
- ・ 若い人が活動に出てくることは大切なことであり、各理事も心がけるよう山田専務理事より話があった。

④名刺作成について

- ・ 百海理事より名刺作成について説明があり、新しく理事になった者など必要な分だけ、希望をとったうえで作成することとした。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成14年 9月 10日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印